



『夢や希望を見出し、未来をひらく子ども』

## 第1回学校生活生徒アンケート&保護者アンケートより

R6の欄は肯定的に回答した割合となっています。( )内は其中で「当てはまる」と最上位で回答した割合です。

【生徒】	R6(%)	R5 比較
将来の夢や希望がある【学園評価指標】	77(51)	▼1(△4)
家の人(兄弟姉妹以外)と将来のことについて話すことがある	73(43)	▼3(▼1)
学校が楽しい	88(52)	▼1(▼2)
みんなで何かをするのは楽しい	91(66)	▼2(▼3)
自ら考え、よりよい生活をしようとしている【学園評価指標】	91(49)	▼3(▼4)
よりよい学校や学級になるために、自分たちで考え、自分にできることを見つけて取り組もうとしている【学園評価指標】	88(46)	▼3(▼3)
<b>自分にはよいところがあると思う</b>	<b>82(48)</b>	<b>▼1(△6)</b>
難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	69(27)	▼3(△2)
授業に主体的に取り組んでいる	88(44)	▼5(▼4)
授業がよく分かる	86(40)	▼1(△2)
授業や家庭学習の課題を解決するために、いろいろな方法で考えたり、みんなと関わって合ったりしながら主体的に学習を深めようとしている【学園評価指標】	85(36)	▼2(▼1)
ペア学習やグループ学習などの対話によって自分の考えを広げたり深めたりしている	90(48)	▼1(▼3)
授業で思考ツールを使って考えている	50(17)	△3(△1)
タブレットを使って学習すると、友達の考えを知って自分の考えが広がったり深まったりしやすくなる	87(44)	0(0)
タブレットを使って学習すると、「自分の課題に向かってもっと学びたい」とか「疑問を解決したい」と思う	78(34)	▼1(▼1)
家庭学習を毎日1時間以上行っている(家庭教師や塾での学習時間も含む)	76(40)	▼3(▼2)
<b>家庭学習ではAIドリルなど、毎日Chromebookを使って学習している</b>	<b>54(20)</b>	<b>△16(△7)</b>
地域での学習や、地域の方との学習が楽しい	78(37)	▼2(▼2)
休日に行われている総合的な学習の時間(休日総合)では、課題意識をもって、学びたいことを探求している	76(36)	▼5(▼3)
テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている	76(49)	△7(△12)
スケジュール帳を効果的に活用しながら生活している	38(15)	▼1(▼1)
登下校中に地震が起こったときの避難方法を知っている	87(43)	▼5(▼12)
心を込めて時間いっぱい黙働清掃を行っている	94(60)	▼3(△15)
交通マナーや交通ルールを守っている	95(67)	▼2(▼3)
家族や周りの人に伝わる挨拶や感謝の言葉を使うことができている	94(67)	▼2(▼1)
時と場に応じた言葉遣いができる	93(65)	▼3(▼2)
健康的な生活習慣を心掛け、自己管理ができている	88(54)	▼2(0)
給食では残食をしないように努力している	86(61)	△1(△3)
学校に信頼できる先生がいる	83(48)	△1(△3)
第Ⅰステージ(基本のステージ)では、新たな出会いを通して、自分の仲間の個性やよさを実感するようなかかわりをつくることのできた	90(49)	
第Ⅱステージ(挑戦のステージ)では、自分や仲間の個性やよさを実感するようなかかわりの中で目標に向かって全力で挑戦している	89(45)	

【保護者】	R6	R5 比較
お子さんは、日頃から将来の夢や希望を考えている(将来の夢や希望を語ったり話したりしている)【学園評価指標】	72(21)	0(▼1)
子どもと一緒に、子どもの将来のこと(夢や希望)について話すことがある	88(36)	▼1(▼5)
<b>子どもの個性を認め、日頃から子どもと会話している</b>	<b>96(49)</b>	<b>0(▼2)</b>
お子さんは、学校が楽しいと感じていると思う	89(37)	△3(△4)
子どもは、学校に信頼できる先生がいると感じていると思う	84(31)	△3(△2)
お子さんは、授業がよく分かると感じていると思う	72(21)	△8(△9)
お子さんは、主体的に探究しながら学習していると思う(自分の強みを伸ばし弱点を克服するために、自分の課題を見付け、自らの方法で粘り強く学習に取り組んでいる)【学園評価指標】	60(18)	0(△4)
お子さんは、自ら考え実行しながら、生活していると思う(自ら考え、よりよい生活をしようとしている)【学園評価指標】	83(28)	△3(△3)
テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを子どもと決めている	66(27)	△3(△3)
インターネットや SNS で、どのような使い方をしているか保護者として把握している	79(29)	▼4(▼1)
お子さんは、挨拶や「ありがとう」等の感謝の言葉を使うことができている	93(43)	▼1(▼3)
お子さんは、地域で自発的・自治的に活動していると思う(地域のことを考え、地域の活動に積極的に参加している)【学園評価指標】	56(14)	▼3(▼4)
お子さんは、地震等の災害発生時どのような行動(安否確認、避難場所など)をとらなければならないか理解している	89(29)	△1(△3)
袋井市が幼小中一貫教育を推進していることを知っている	95(71)	△1(△2)

周南中は「かかわる全ての人々が、みんなと笑顔で頑張れる『楽しい』学校」への挑戦をしています。本年度も生徒自身が結絆祭やたちばな祭などの行事の企画を担うプロジェクトチームを立ち上げたり、全校生徒が安全に安心して生活を送るために、生徒会本部や専門委員会が主体的に活動したりしていくことで、生徒が自分事となって参画する機会を多く設けています。生徒の主体性を最大限に生かしています。また、不登校やいじめへの未然防止、早期対応を図るために、心の天気「デイケン」を活用し、全職員がチームとなり、誰一人取り残すことのないように生徒一人一人に寄り添う支援を行っています。

本年度は袋井市内全ての中学校で AI ドリル「キュービナ」が導入されました。生徒の質問項目「**家庭学習では AI ドリルなど、毎日 Chromebook を使って学習している**」では、AI ドリルを活用して学習を進める生徒が 16 ポイントと大きく上昇し、生徒の AI ドリルの活用が進み始めていることが分かります。周南中では授業だけでなく、朝の活動においても AI ドリルを活用し、生徒が知識や学習習慣を定着できるよう支援を行っています。全国学力学習状況調査の知識を問う問題では、本年度、全国平均と比べ、国語では+0.4 ポイント、数学では+0.2 ポイントとほぼ同じ結果となっております。今後 AI ドリルを効果的に活用し、今以上に知識の定着を図っていきたいと考えています。

生徒自身に関することに目を向けると、生徒の質問項目「**自分にはよいところがあると思う**」の最上位回答が、前年度より 7 ポイント上昇しています。これは保護者の質問項目「**子どもの個性を認め、日頃から子どもと会話している**」の肯定群が 96%と高いことと相関関係が考えられます。御家庭で生徒の個性を認め、あたたかい言葉掛けをしていただいているおかげで、生徒は「自分にはよいところがある」と感じ、自己肯定感を涵養しているのではないかと考えられます。学校でも生徒の個性を認め、日頃から声掛けをし、生徒の自己肯定感を高めることができるよう支援をしていきたいと思ひます。

その他の質問項目や自由記述に関しても、お答えいただいたアンケートを基に、8 月に教科部、生徒指導部など担当毎にわかれ、結果の分析や 2 学期以降の改善点などを協議いたしました。生徒、保護者のみなさまの御意見も参考にしながら、生徒全員が安心、安全で、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動を行っていきたく思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。